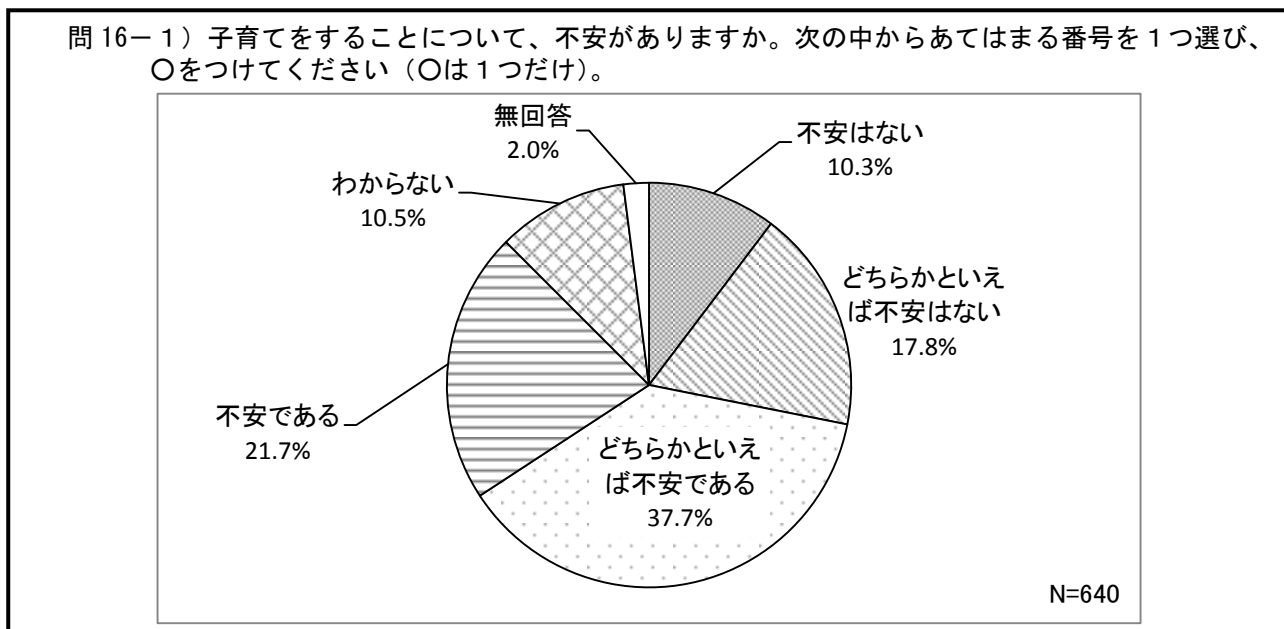


4 「子育て」について

(1) 子育てへの不安

◆半数以上が子育てについて何らかの不安をもっています



○「どちらかといえば不安である」が 37.7%、「不安である」が 21.7%となっており、半数以上が子育てに何らかの不安を感じていることが分かります。

【パートナーとの合計の収入別の子育てへの不安】※子どもがいる世帯のみ

	合 計	1. 不安はない	2. どちらかとい えば不安は ない	3. どちらかとい えば不安で ある	4. 不安である	5. わからない	6. 無回答
全 体	339 (100.0)	40 (11.8)	87 (25.7)	144 (42.5)	57 (16.8)	4 (1.2)	7 (2.1)
回 答 者 と 配 偶 者 の 収 入 の 合 計	100万円未満	3 (100.0)	0 (-)	1 (33.3)	2 (66.7)	0 (-)	0 (-)
	100万円以上300万円未満	15 (100.0)	2 (13.3)	1 (6.7)	8 (53.3)	3 (20.0)	1 (6.7)
	300万円以上500万円未満	73 (100.0)	11 (15.1)	17 (23.3)	34 (46.6)	11 (15.1)	0 (-)
	500万円以上700万円未満	103 (100.0)	11 (10.7)	25 (24.3)	42 (40.8)	21 (20.4)	2 (1.9)
	700万円以上900万円未満	61 (100.0)	6 (9.8)	21 (34.4)	22 (36.1)	9 (14.8)	2 (0.0)
	900万円以上	68 (100.0)	9 (13.2)	18 (26.5)	27 (39.7)	12 (17.6)	2 (2.9)
	無回答	16 (100.0)	1 (6.3)	4 (25.0)	9 (56.3)	1 (6.3)	0 (-)

○収入が増えるにつれて「どちらかといえば不安である」と「不安である」の割合の合計は減少傾向にあります。

【結婚の状況別の子育てへの不安】

		合計	1. 不安はない	2. どちらかといえ ば不安はない	3. どちらかといえ ば不安である	4. 不安である	5. わからない	6. 無回答
全体		640 (100.0)	66 (10.3)	114 (17.8)	241 (37.7)	139 (21.7)	67 (10.5)	13 (2.0)
年齢	1. 結婚している(※事実婚を含む)	380 (100.0)	45 (11.8)	86 (22.6)	152 (40.0)	73 (19.2)	17 (4.5)	7 (1.8)
	2. 結婚したことはあるが離(死)別した	18 (100.0)	3 (16.7)	3 (16.7)	6 (33.3)	4 (22.2)	1 (5.6)	1 (5.6)
	3. 結婚していない	214 (100.0)	15 (7.0)	18 (8.4)	74 (34.6)	57 (26.6)	46 (21.5)	4 (1.9)
	4. 無回答	28 (100.0)	3 (10.7)	7 (25.0)	9 (32.1)	5 (17.9)	3 (10.7)	1 (3.6)

○既婚者の方が「どちらかといえ不安はない」が高く、また「不安である」が低い傾向となっています。

【現実の子どもの数別の子育てへの不安】

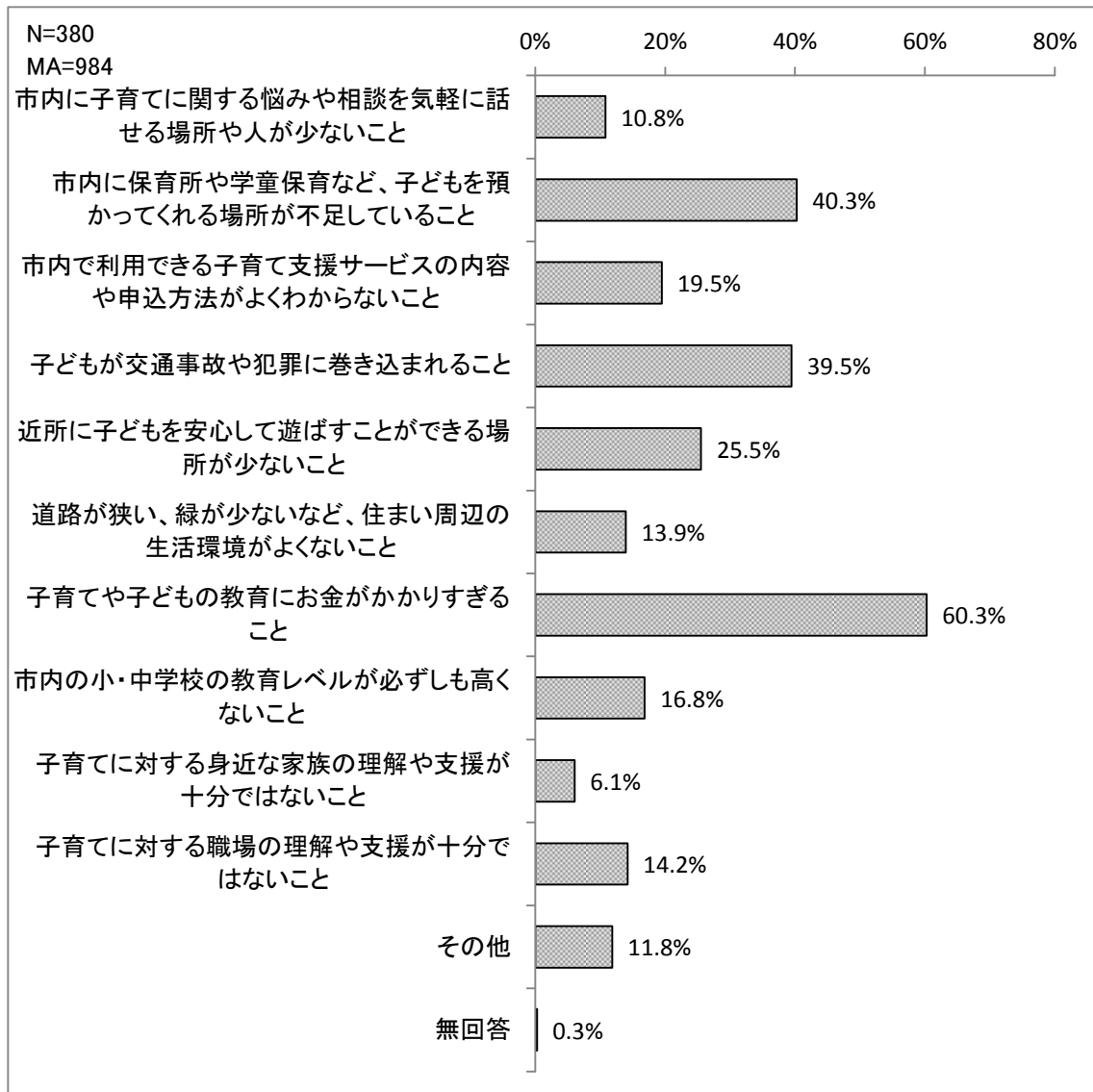
		合計	1. 不安はない	2. どちらかといえ ば不安はない	3. どちらかといえ ば不安である	4. 不安である	5. わからない	6. 無回答
全体		640 (100.0)	66 (10.3)	114 (17.8)	241 (37.7)	139 (21.7)	67 (10.5)	13 (2.0)
年齢	1. 1人	136 (100.0)	18 (13.2)	27 (19.9)	61 (44.9)	27 (19.9)	1 (0.7)	2 (1.5)
	2. 2人	150 (100.0)	18 (12.0)	46 (30.7)	61 (40.7)	19 (12.7)	3 (2.0)	3 (2.0)
	3. 3人	52 (100.0)	4 (7.7)	14 (26.9)	21 (40.4)	11 (21.2)	-	2 (3.8)
	4. 4人以上	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
	5. 子どもはいない	273 (100.0)	25 (9.2)	26 (9.5)	86 (31.5)	75 (27.5)	56 (20.5)	5 (1.8)
	6. 無回答	28 (100.0)	1 (3.6)	1 (3.6)	11 (39.3)	7 (25.0)	7 (25.0)	1 (3.6)

○現実の子どもの数に関わらず「どちらかといえ不安である」が最も高くなっています。また、「不安である」と答えた割合が最も高かったのは子どもがいない方です。

※問 16-1) で「3 どちらかといえば不安である」、または「4 不安である」を選んだ方を選んだ方のみ回答 (N=380)

◆「子育てや子どもの教育にお金がかかりすぎる」が6割を占めています

問 16-2) 子育てをすることについて、どのようなことが不安ですか。次の中から該当する番号を3つまで選び、○をつけてください (○は3つまで)。なお、「11 その他」を選んだ場合には、カッコ内に具体的な内容を記入してください。



○子育ての不安としては、割合が高い順に「子育てや子どもの教育にお金がかかりすぎる」が 60.3%、「市内に保育所や学童保育など、子どもを預かってくれる場所が不足していること」が 40.3%、「子どもが交通事故や犯罪に巻き込まれること」が 39.5%となっています。

【年齢別の子育ての不安】

	回答者数	合計	1. 市内に子育てに関する悩みや相談を気軽に話せる場所や人が少ないこと	2. 市内に保育所や学童保育など、子どもを預かってくれる場所が不足していること	3. 市内で利用できる子育て支援サービスの内容や申込方法がよくわからないこと	4. 子どもが交通事故や犯罪に巻き込まれること	5. 近所に子どもを安心して遊ばすことができる場所が少ないこと	6. 道路が狭い、緑が少ないなど、住まい周辺の生活環境が良くないこと	7. 子育てや子どもの教育にお金がかかりすぎることに	8. 市内の小・中学校の教育レベルが必ずしも高くないことに	9. 子育てに対する身近な家族の理解や支援が十分ではないことに	10. 子育てに対する職場の理解や支援が十分ではないことに	11. その他	12. 無回答	
全体	380 (100.0)	984 (258.9)	41 (10.8)	153 (40.3)	74 (19.5)	150 (39.5)	97 (25.5)	53 (13.9)	229 (60.3)	64 (16.8)	23 (6.1)	54 (14.2)	45 (11.8)	1 (0.3)	
年齢	1. 18～24歳	54 (100.0)	146 (270.4)	8 (14.8)	26 (48.1)	19 (35.2)	20 (37.0)	12 (22.2)	5 (9.3)	35 (64.8)	9 (16.7)	1 (1.9)	3 (5.6)	8 (14.8)	0 (-)
	2. 25～29歳	42 (100.0)	112 (266.7)	5 (11.9)	17 (40.5)	17 (40.5)	11 (26.2)	9 (21.4)	9 (21.4)	25 (59.5)	5 (11.9)	3 (7.1)	9 (21.4)	2 (4.8)	0 (-)
	3. 30～34歳	57 (100.0)	148 (259.6)	5 (8.8)	26 (45.6)	12 (21.1)	22 (38.6)	16 (28.1)	4 (7.0)	38 (66.7)	6 (10.5)	7 (12.3)	10 (17.5)	1 (1.8)	1 (1.8)
	4. 35～39歳	70 (100.0)	186 (265.7)	7 (10.0)	30 (42.9)	7 (10.0)	30 (42.9)	21 (30.0)	13 (18.6)	43 (61.4)	13 (18.6)	4 (5.7)	9 (12.9)	9 (12.9)	0 (-)
	5. 40～44歳	85 (100.0)	204 (240.0)	5 (5.9)	24 (28.2)	14 (16.5)	34 (40.0)	22 (25.9)	12 (14.1)	48 (56.5)	20 (23.5)	1 (1.2)	10 (11.8)	14 (16.5)	0 (-)
	6. 45～49歳	71 (100.0)	185 (260.6)	11 (15.5)	30 (42.3)	5 (7.0)	32 (45.1)	17 (23.9)	10 (14.1)	40 (56.3)	10 (14.1)	7 (9.9)	12 (16.9)	11 (15.5)	0 (-)
	7. 無回答	1 (100.0)	3 (300.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (100.0)	0 (-)	1 (100.0)	0 (-)	0 (-)

○すべての年齢で「子育てや子どもの教育にお金がかかりすぎることに」の割合が最も高くなっています。また、39歳以下では2番目に「市内に保育所や学童保育など、子どもを預かってくれる場所が不足していること」の割合が高く、40歳以上では「子どもが交通事故や犯罪に巻き込まれること」の割合が高くなる傾向にあります。

※問 16-2) 「その他」の回答

- ・ 障害児に対する今後の支援。
- ・ お金がかかりすぎる。
- ・ 市内の教師の質が低すぎることに（私自身の経験から）。
- ・ ウチの子は中2で愛の手帳をとりました。とるまでの間、ものすごく悩みました。市の教育機関では力不足です。色々経験を積んだ方の話を聞きたいと思いました。事例も知りたい。ぜひとも、子育ての壁にぶち当たった時に答えは一つじゃなく、様々ある。色々方法があると体験してきた方のお話を聞けるような TEL 相談でもいいし、あるといいなと思いました。
- ・ 子供が正常に成長していくのかの不安。
- ・ 親側の体力気力が保てるかどうか。
- ・ モンスターペアレント、放任の親が多すぎる。
- ・ まったく不安を感じず育てる事があるのか逆に聞きたい。子供の体調や発育、子供の人間関係など、多少なりと考えない親はいないと思う。
- ・ 現在大学生。就活にあたり希望する職種があるが、その仕事に就いたら仕事と子育ての両立はほぼ絶望。それでも職種にこだわるか、まだ予定すらない結婚・出産を考慮して就活をすべきなのか。
- ・ 生活環境、生活水準の差が激しい。学習に対する意識が低いこと。
- ・ 小中一貫校を作る。
- ・ 東村山の学校給食は、まずいと聞いている。子供に美味しい温かい給食（料理）を食べさせてあげたい。自校方式がベストであるが、コスト的に無理なら、対策を考えてほしい。
- ・ 子供がいじめにあうこと、ならびにその際の学校の対応。
- ・ 車通りが多く、青梅街道に向かってスピードを出して大型トラックが通るので危ない。どうにかして欲しい。
- ・ 子供が大きくなってきて、給料が上がらないのに食費がかかる為。
- ・ 戦争などに巻き込まれないか不安。
- ・ 19:00以降の預け先が見つからない。
- ・ 障害があって生まれた場合のフォローや支援サービス等がゆきとどいてない。
- ・ 都内及び全国的に比較して、教育に対する親の意識が低い。
- ・ いじめ。
- ・ 子育て、教育にはとてもお金がかかります。金銭的に大変だからと、2人までと考えている友人たちはたくましいです。“余裕があるなら、うちももう1人いてもいいかな”と思います。子供はかわいいです。子育て支援をすすめれば絶対に出産率も上がり子どもは、増えます。東村山は緑もある。交通の便も良いとても住みやすい良いところです。

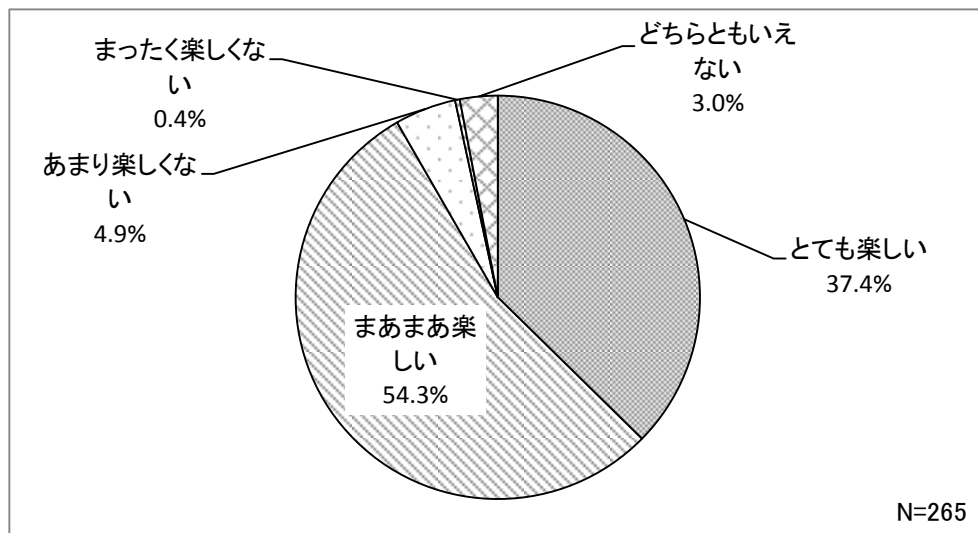
- ・ 結婚していたとしたら相手（パートナー）の理解、しっかりした人であることや身近な家族の理解などがなくては不安だと思いました。
- ・ 世界規模での環境悪化。
- ・ 青パト導入する等、防犯パトロールが常に行われているとつきまといや抱きつき事件、車への引き込み事件等が減るのではないのでしょうか。常にパトロールの“目”があれば犯罪抑止力になると思う。
- ・ よくわからないけど不安。
- ・ お金。
- ・ 何をすることも最初は不安でしょ。
- ・ 学校での人間関係、いじめなど。
- ・ 子育てに対する周辺地域の理解（夜泣き、騒音など）。
- ・ 猫が多すぎて糞尿で街が臭い。公園の砂場使えない。
- ・ 保護者間の付き合いが苦手、保護者のやることが多い。
- ・ 子供を預けられる時間が短い。
- ・ 区画整理がされておらず、見難い交差点が多いこと。
- ・ 市内の小学校ではアレルギーに関して、知識のない教員が多く、行事など親が大変だった。
- ・ 悩みというのは相談ができにくいから悩みであって、それを「相談員がいます」だけで話せる性質ではないことがあるので解決できないことがあるということを知りましょう。それを踏まえると行政での限界があるので、民生員などで構成されるNPOなどの専門チームを起て、その運営をサポートする事はどうかと。特に弁護士団体や検察、警察などの組との横の連携を行政がやる事により、他の自治体との格差が発生すると思います。
- ・ 障害児支援についての情報が少なすぎる事。
- ・ 出産予定の子供が障害をもって生まれる可能性が高いことがわかったため。
- ・ 担任していただく先生の人格により、その学年での子供の成長にとっても大きな影響があるのに生徒は先生を選べない。とても大変な小学校生活を送らなければならなかった経験をしました。市立小・中学校の先生方の再教育を強く望みます。やる気のない先生はいらないと思います。
- ・ 貧困層の子供の進学レベルの違い。
- ・ 自分自身が人を育てられる様な人間だとは思えない。
- ・ みんながみんな近くに子供を預けることのできる友人や家族がいるわけではないし、今は個人情報も勝手にばらされるしベビーシッターも安易に頼めない。
- ・ 「都市計画道路によって生活環境が破壊されるのではないか」ということ。
- ・ 周りの環境ではなく、自分自身が「親」として子供を育てられるか？という懸念がある（子供にとって親という存在はとても重要であり、1人の人間の人生を左右しかねない存在に、果たして自分になるべきなのか、という意味での不安がある）。
- ・ 職場が市外であり、理解は得られるものの、仕事を続けたいので、両立が可能な環境ではないと思う。
- ・ 障害児への理解が周知されない。

(2) 子育ての楽しさ

※現在、小学校6年生以下のお子さんがいらっしゃる方のみ回答 (N=265)

◆ 9割以上が子育てを楽しんでいると感じています

問 17-1) 子育てが楽しいですか。次の中からあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください (○は1つだけ)。

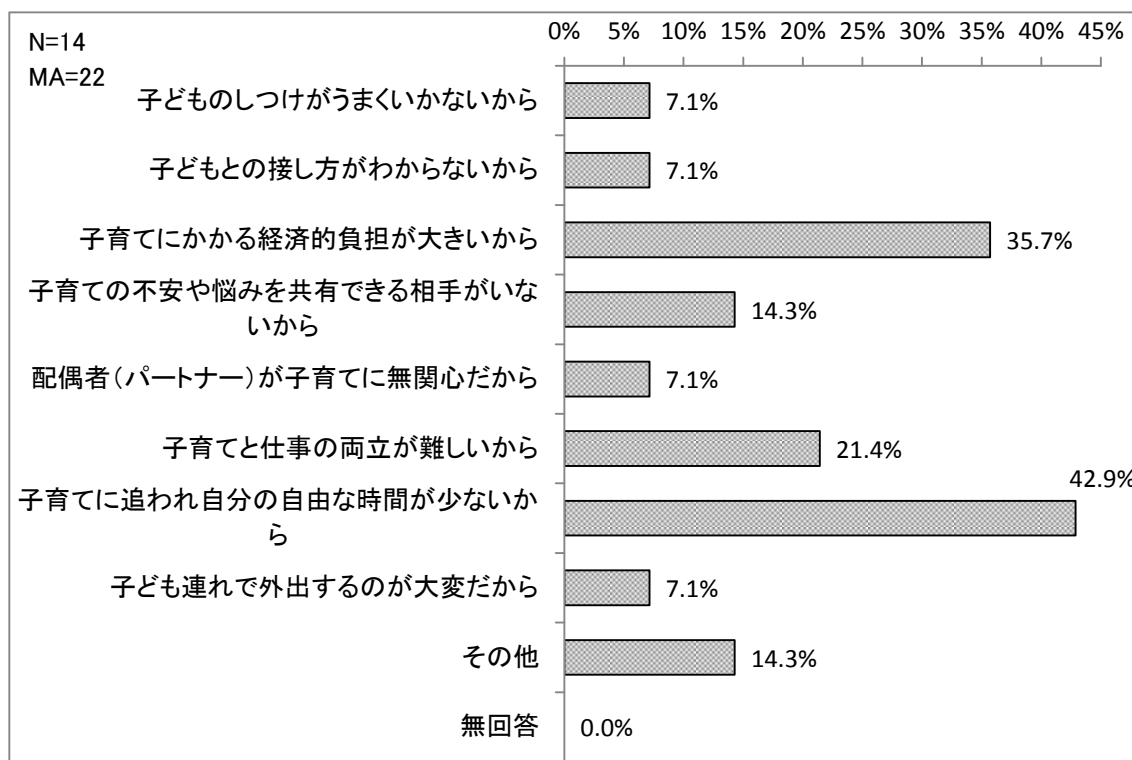


○「とても楽しい」が 37.4%、「まあまあ楽しい」が 54.3%となっており、9割以上が子育てを楽しんでいると感じていることが分かります。

※問 17-1) で「3 あまり楽しくない」、または「4 まったく楽しくない」を選んだ方のみ回答 (N=14)

◆「子育てに追われ自分の自由な時間が少ないから」が4割を占めています

問 17-2) 子育てが“楽しくない”理由は、何ですか。次の中から該当する番号を2つまで選び、○をつけてください (○は2つまで)。なお、「9 その他」を選んだ場合には、カッコ内に具体的な内容を記入してください。



※問 17-2) 「その他」の回答

- ・ 教育に関するレベルが低く塾に通っていることで特別視される。
- ・ 子供に関わる人間関係(親の関係)が面倒である。

○子育てが楽しくない理由としては、割合が高い順に「子育てに追われ自分の自由な時間が少ないから」が 42.9%、「子育てにかかる経済的負担が大きいから」が 35.7%、「子育てと仕事の両立が難しいから」が 21.4%となっています。